

Allbirdsのミッション	03
Allbirdsの始まり	04
PBC と B Corp について	05
Allbirdsのサステナビリティ計画	08
Allbirdsの目標	09
優先事項	10
2025年までの目標	11
2030年までの目標	13
Allbirdsの基盤	14
ステークホルダーレビュー	15
Allbirdsのアプローチ	16
測定	17
削減	19
再生型農業	20
革新的素材	22
環境的責任のあるエネルギー	27
オフセット	29
Allbirdsのビジネス	32
Allbirdsのチーム	33
製造パートナー	35
パートナーシップ	37
コミュニティ	39
これからについて	40
データ	42

Allbirdsのミッション

Allbirdsは世の中への貢献が利益と同じ価値を持つことのできる、新しい形のビジネスを目指して2016年に誕生しました。シューズやアパレルなどの製品開発で重要視したのは化石燃料ベースの合成素材を使用せず、天然由来の素材による高品質な製品を作ることでした。そのような製品を開発することによって、物作りにおいて新しい提案を示したいという思いがありました。

全世界のシューズ業界は年間で200億足のシューズを生産しており、その大半は環境に影響を及ぼす素材を使用しています。Allbirdsは地球温暖化という危機的な状況に対応するために環境への負荷を抑え、より良い方法で製造できるシューズやアパレルを提案することに誇りを持っています。快適なシューズを製造することはもちろんですが、強い決意とイノベーションを通してあらゆるビジネスがより環境に配慮したアプローチを選択するよう促すことができれば、より意義のあることを成し遂げられると考えています。

Allbirdsの始まり

創業者の一人であり、元ニュージーランド代表サッカー選手でもあったティム・ブラウンは、現役時代にシューズを履くうちにいくつかの疑問を持つようになりました。全てのシューズが必ずしも派手なカラーやロゴまみれである必要があるのか？そして化石燃料から作られる素材でなく、より環境に配慮した素材で、同じくらい快適でデザイン性の高い製品を作れないだろうか？ウールの特性について周知しているニュージーランド人のティムはそこから研究と実験を開始しました。そして最高品質の天然由来素材（ニュージーランド メリノウールなど）による新しい形のシューズを作るため、再生可能分野のバイオテクノロジー専門家であるジョーイ・ズウィリンジャーと共に2016年に創業しました。

人類は元々、自然界にある材料を使って足を守るものを履いていました。プラスチックなどの石油由来の素材でできた製品を使用し始めたのはつい最近のことなのです。シューズ業界は年間に7億メ

トリックトンのカーボンを大気圏に排出し、環境汚染の大きな要因となっています。その理由は石油由来であるプラスチックの利用によるものです。そこでティムとジョーイは天然由来でサステナブルなシューズ作りに立ち戻ることを考えました。

Allbirdsが最初に開発したウールランナーは天然素材を使用し、余計なロゴやブランディングを排除したデザインを用いた、日常的に履ける快適なシューズでした。リリースされた時はティムとジョーイだけでなく、多くの人々がこのシューズに期待を抱きました。そして2016年からAllbirdsは従来のシューズビジネスモデルから脱却し、より良いものをより良い方法で作るための道を歩み始めたのです。



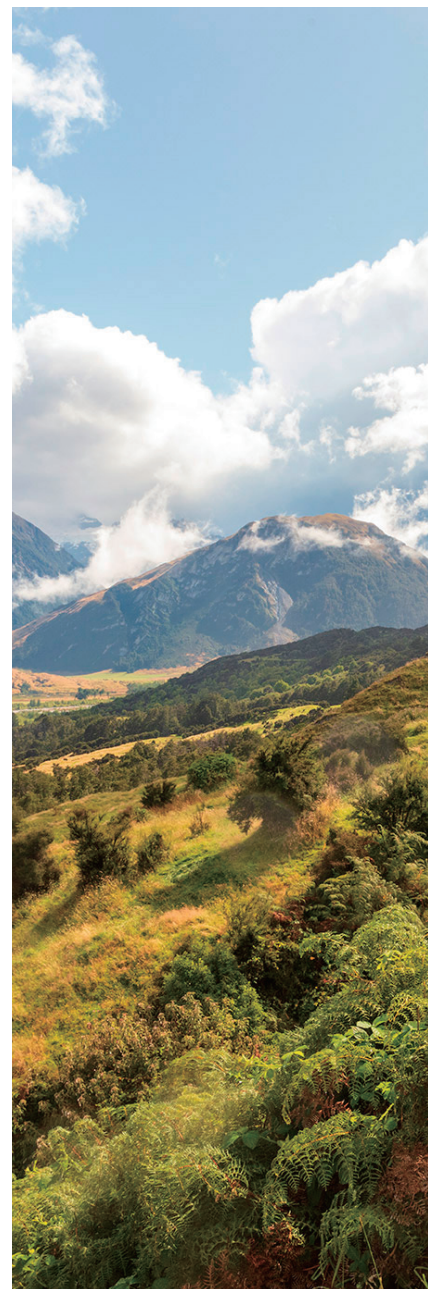
PBC(パブリックベネフィットコーポレーション)と B Corpの意義

Allbirdsは選択するビジネス形態が自分たち自身だけでなく、社会にとっても重要な決断になると考えていました。そして環境保全を事業の軸として組み込むため、利益と使命を一致させて社会に貢献できるPBCという形態を選んだのです。よってAllbirdsの役員などは利益を生み出すことと、環境保全やステークホルダーに与える影響についても考慮しながら重要な決断を下すことができるのです。

AllbirdsはB Corp認証を取得しています。ガバナンス、従業員、コミュニティ、環境、そしてお客様に焦点を当てた事業活動を保証する認証制度です。B Corp認証の企業は3年ごとに再認証手続きの申請が必要となり、申請ごとにより多くの改善を求められるようになります。

大変なプロセスですがAllbirdsはこのようなシステムを歓迎します。企業目的を明確に保ち、活動の良かった部分や改善点を評価する機会となるからです。Allbirdsの2019年B Corp全体評価は2016年から9%上昇し、環境カテゴリーでは67%上昇しました。しかもこの間で従業員数は450人に膨れ、35カ国で22店舗を展開するようになりました。より信頼性のあるPBCであるためにはその他カテゴリーも重要なので、全体的な質を高められるよう取り組みを続けています。

このようなビジネスコミュニティに参加できることと、その他のB Corpリーダー達と共にあらゆるステークホルダーにとって有益なアクションを提案できることを誇りに思っています。2019年に私たちはアメリカのビジネスラウンドテーブルのCEO向けにステークホルダー資本主義の重要性と、B Corp企業の取り組みへの賛同を促す、「Let's get to work (共に取り組もう)」という文書を作成しました。



LET'S GET TO WORK

Dear Business Roundtable CEOs,

We are part of a community of Certified B Corporations who are walking the walk of stakeholder capitalism. We are successful businesses that meet the highest standards of verified positive impact for our workers, customers, suppliers, communities and the environment.

We operate with a better model of corporate governance – benefit corporation governance – which gives us, and could give you, a way to combat short-termism and the freedom to make decisions to balance profit and purpose.

As you know, with continued resistance from investors on this new definition of business, we've got work to do to help them see that stakeholder governance builds trust and builds value.

More importantly, it also ensures that the purpose of capitalism is to work for everyone and for the long term.

Let's work together to make real change happen.

- | | | | | |
|----------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------|---------------------------------------------------|
| ALLBIRDS
Joey Zwilling & Tim Brown | AMALGAMATED BANK
Keith Mestrich | BEAUTYCOUNTER
Gregg Renfrew | BEN & JERRY'S
Matthew McCarthy | BENEFICIAL STATE BANK
Kat Taylor |
| BOLOCO
John Pepper | CABOT CREAMERY COOPERATIVE
Ed Townley | COTOPAXI
Davis Smith | DANONE NORTH AMERICA
Mariano Lozano | DATA WORLD
Brett A. Hurt |
| EILEEN FISHER
Eileen Fisher | GAIA HERBS
Angela McElwee | GUAYAKI YERBA MATE
Chris Mann | HAPPY FAMILY ORGANICS
Anne Laraway | INTREPID TRAVEL
James Thornton |
| KING ARTHUR FLOUR
Karen Colberg, Ralph Carlton, Suzanne McDowell | KLEAN KANTEEN
Jim Osgood | LEESA SLEEP
David Wolfe | LEMONADE
Daniel Schreiber & Shal Wtninger | |
| NATURA & CO
Roberto Marques | NEW BELGIUM BREWING
Steve Fechelmer | ONE BETTER VENTURES
John Replogle | PARTICIPANT MEDIA
David Linde | PATAGONIA
Rose Marcario |
| SEVENTH GENERATION
Joey Bergstein | SIR KENSINGTON'S
Scott Norton | STASH TEA
Nami Yamamoto | STONYFIELD ORGANIC
Esteve Torrens | STUMPTOWN COFFEE ROASTERS
Sean Sullivan |
| SUNDIAL BRANDS
Richelleu Dennis | UPLIGHT
Adrian Tuck, Justin Segall, Yoav Lurie | W.S. BADGER COMPANY
Rebecca Hamilton & Emily Schwerin-Whyte | | |

Certified



Meeting the highest standards of verified social and environmental performance, public transparency, and legal accountability to balance profit and purpose.

Corporation

企業として成長すると同時に、Allbirdsの発言力と責任も大きくなります。私たちはコミュニティに配慮し、社会が直面している環境問題についてお客様に理解してもらう手助けをしたいと考えています。コロナウィルスによる生活やビジネスへの影響はコミュニティの繋がりを再確認するきっかけとなり、様々なステークホルダーに配慮する必要性が明らかになりました。そして2020年に起きたこの未曾有の事態は気候変動に対してより大胆な行動と、自分たちのプラットフォームを利用して周りの声をより広く届ける機会となりました。

今はとても大事な時期です。アパレルなどの新製品を通してビジネスを成長すると同時に、サステナブルな天然素材開発の分野の拡大も続けていくつもりです。この拡大によって新しいマーケットを開拓し、それがコスト削減やその他の企業による天然素材の採用を促進させることができると期待しています。地球にとってより良いこと成し遂げる方法は、他のビジネスと手を組むことだとAllbirdsは信じています。

「2016年にAllbirdsを立ち上げた時、ビジネスと環境に対する責任の融合という可能性を示す、サステナブルなビジネス構想を描きました。それから5年が経ち、気候変動に立ち向かうグローバルブランドを構築する必要性はより重要なものとなりました。そしてお客様がAllbirdsの信頼性と環境に配慮した製品を購入していただく度に、様々な見返りがあることに気づきました。2016年に私たちは自分たちの孫の世代が喜んで誇りに思うようなものを作ることに力を注ごうと決めました。私たちに孫ができるのはまだ先かもしれませんが、私たちのプロジェクトもまだ始まったばかりです。」



ティム・ブラウン&ジョーイ・ズウィリンジャー
共同創業者

Allbirdsの サステナビリティ計画

Allbirdsは2021年の3月に5周年を迎え、今後の5年、そしてその先に向けた目標を設定しました。Allbirdsのミッションは「ビジネスの力で気候変動を逆転させること」です。この壮大で長期的な目標を達成するには堅実的な、ビジョンの定まった計画が必要となります。ここではAllbirdsのサステナビリティ計画、そして2025年の年末までに達成すると決めた10の目標を発表します。

気候変動逆転に向けたAllbirdsのサステナビリティ計画は3つのポイントに焦点を当てています：再生型農業、再生可能素材、そして環境的責任のあるエネルギー。加えてより詳細且つ定量的な10点の目標を設定しています。これらの目標を達成することによって2025年の終わりまでに自分たちのカーボン排出量を半分に減らし、2019年から開始したカーボンニュートラルビジネスも続けていきます。目標達成までの道筋を明確にするためには、短期的な進歩が重要となります。

産業革命以前の時代から1.5°Cの地球気温上昇を2030年までに避けるためには、大胆にカーボン排出量を減らす必要があると研究結果ははっきりと示しています。多くの国家機関や企業、そして科学界も2030年が決定的な年になると考えているので、私たちの目標もその年をタイムリミットと設定しました。2030年までにAllbirdsは製品毎の排出量を95%削減、すなわち製品の単品カーボンフットプリントを1kg CO₂e以下までに落したいと考えています。大胆な目標設定ですが、先ほどの1.5°Cの上昇を避けるためには不可欠だという結論に至りました。（こちらの目標の詳細については「2025年までの目標」及び「2030年までの目標」を参照ください）

Allbirdsの目標

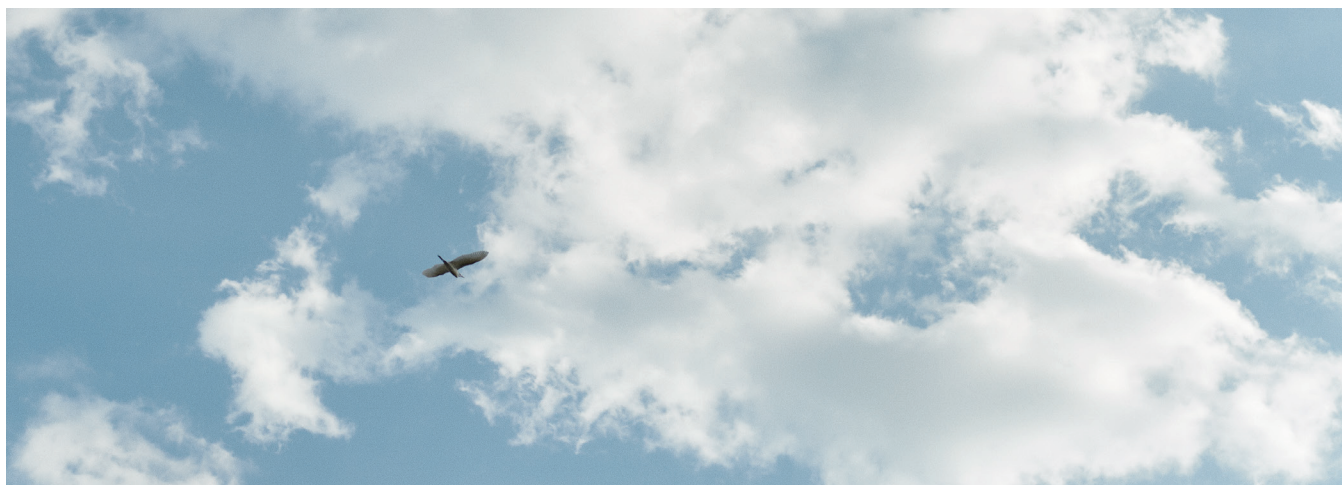
計画作りでまず取り掛かったのは指標となるミッションステートメントを明確にすることでした。それは**ビジネスの力で気候変動を逆転させる**ことです。私たちのより良いものをより良い方法でという理念を表すため、一語一句を慎重に考えて決めたものです。

目標達成にはシューズとアパレル業界を革新させる必要があります。私たちはより包括的なステークホルダーへのアプローチによって、従来のビジネス手法に一石を投じたいと考えています。競争をよりポジティブなものに転換させ、新しい発見を共有していきたいのです。

「ビジネスの力で 気候変動を逆転させる」

気候変動は危機的な問題です。私たちが取り組む様々な問題のうちの1つですが、早急に取り組まなくてはならないものです。それを解決するためには、公平性が中心的な役割を果たすと考えています。

私たちの最終的な目標はカーボン排出量をゼロ以下に減らし、地球温暖化を逆転させることです。それには困難な課題が立ちまわっていますが、ゼロまで落とすのは目標達成に向けた一歩となります。



優先事項

カーボンネガティブを達成するには、まずカーボンフットプリントをゼロにする必要があります。そのために私たちは3つの分野に注目しています：再生型農業、再生可能素材、そして環境的責任のあるエネルギーです。さらに公正な労働、水、化学、動物福祉、そしてトレーサビリティ及び透明性という5つのポイントに焦点を当てます。気候変動に対抗するには私たち自身とステークホルダーを支える基盤が重要となります。これらの優先事項は従業員、投資者、お客様、そしてサプライヤーなどを含む様々なステークホルダーグループからのインプットを元にしたプロセスを経て決められました。



気候変動

「ビジネスの力で気候変動を逆転する」

再生型農業

- 適切な土地の管理と素材調達
- 土壌の改善
- 生物多様性を守る
- ローカルコミュニティとの関わりやサポート

再生可能素材

- 天然素材、リサイクル素材の革新
- 製品寿命までを考慮してデザイン
- 廃棄物を減らす
- 耐久性を高める
- サーキュラービジネスモデルの開発

環境的責任のあるエネルギー

- サプライチェーン上のエネルギー消費量を減らす
- 再生可能エネルギーに転換
- 製品の適切な扱いを促進
- クリーンエネルギーへの平等なアクセスを提唱

優先事項

公正な労働

ダイバーシティ及びジェンダーに対する平等性、給料、労働に関する健康と安全、そして道義的行動を含む

基盤

水

化学

動物福祉

トレーサビリティと透明性

2025年までの目標

Allbirdsのサステナビリティ計画は2025年末までに達成すると決めた10の優先事項に支えられています。より詳しくは「Allbirdsのアプローチ」セクションの「削減」を参照ください。

<p>再生型農業 カーボン削減のために農業形態を転換</p>	<p>再生可能素材 天然素材を石油ベース素材の代わりに使用</p>	<p>環境的責任のあるエネルギー より環境に配慮した燃料及び電気を少量で使用</p>
<p>13 CLIMATE ACTION 15 LIFE ON LAND</p> 	<p>12 RESPONSIBLE CONSUMPTION AND PRODUCTION 13 CLIMATE ACTION</p> 	<p>7 AFFORDABLE AND CLEAN ENERGY 9 INDUSTRY, INNOVATION AND INFRASTRUCTURE 12 RESPONSIBLE CONSUMPTION AND PRODUCTION 13 CLIMATE ACTION</p> 
<p>再生型農家からのウールを100%使用</p>	<p>サステナブルな手法で調達された天然もしくはリサイクル素材を75%使用</p>	<p>「自社所有及び稼働」 「自社所有及び稼働」施設で再生可能エネルギーを100%使用</p>
<p>ウールの年間カーボン排出量を100%削減もしくは吸収</p>	<p>主要原料のカーボンフットプリントを25%削減</p>	<p>製造 T1*で再生可能エネルギーを100%使用</p>
<p>ウールの年間カーボン排出量を100%削減もしくは吸収</p>	<p>シューズ及びアパレル製品の素材使用量を25%削減</p>	<p>輸送 製品輸送の95%を海上輸送にする</p>
<p>ウールの年間カーボン排出量を100%削減もしくは吸収</p>	<p>シューズ及びアパレル製品の寿命期間を倍にする</p>	<p>お客様による使用 Allbirdsアパレル製品について、お客様の100%が常温洗濯、そして50%が自然乾燥</p>

*T1= Tier1主要工場

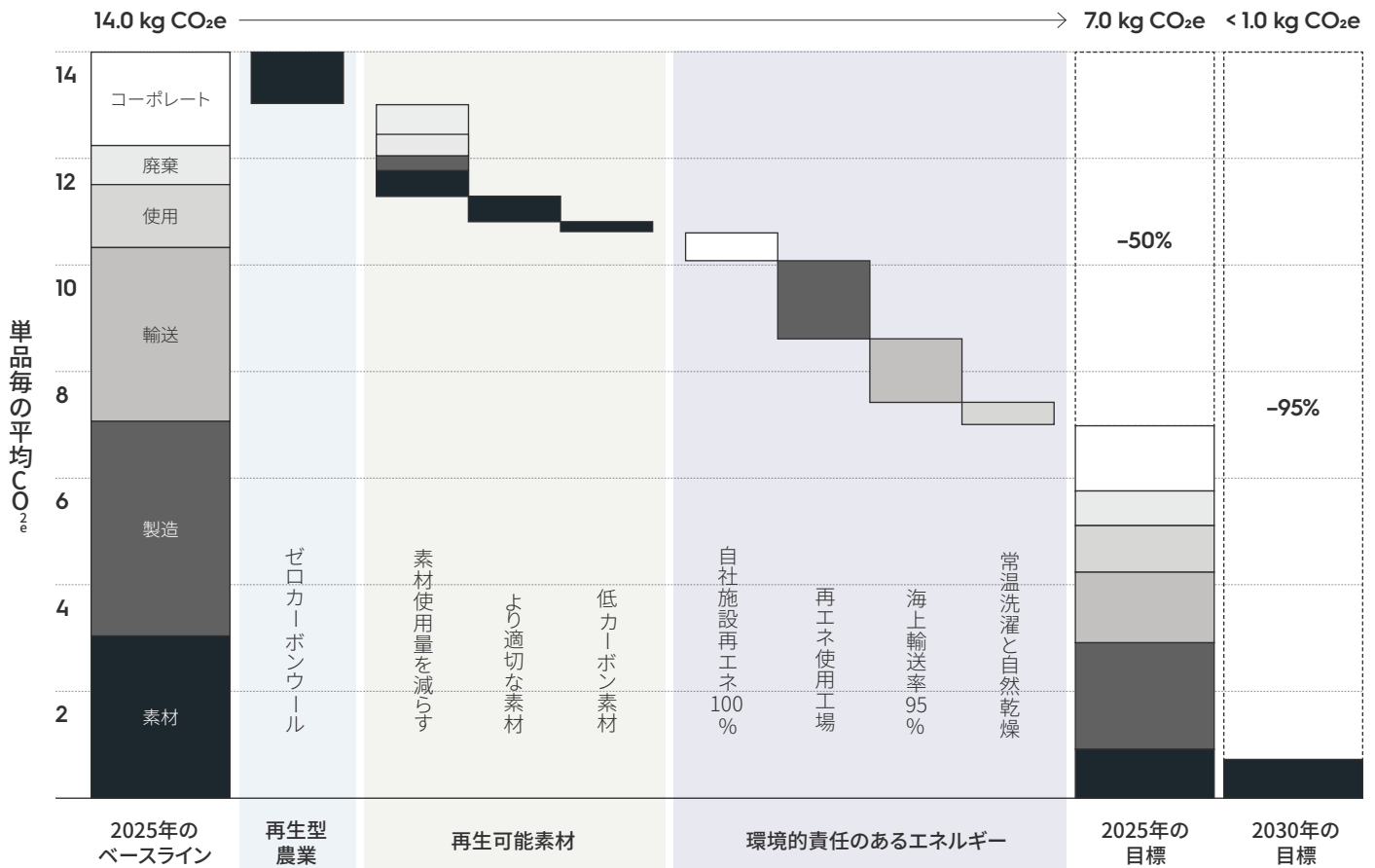
私たちのサステナビリティ計画には国連の持続可能な開発目標 (SDGs) を盛り込んでいます。Allbirdsが環境問題にどのように取り組み、よりサステナブルな未来に対するサポートを示すために、以下の優先事項や基盤となるポイントにSDGsが含まれています。



10の目標は2025年までに製品毎のカーボン排出量を50%削減するためのもので、現状での2025年単品カーボン排出量ベースラインと照らし合わせています。このベースラインには追加アパレル製品などの想定できる変化による排出量増加も考慮しています。



詳細プラン



耐久性向上やリコマースなどの循環的な取り組みはこのチャートに表されていませんが、それらもカーボン数値に影響を与えます。

2030年の目標

2025年の目標を元に、2030年までは製品の単品カーボン排出量を95%減らします。こちらも2025年目標と同じベースラインに基づいており、達成すれば2030年までにAllbirdsの全製品は平均1kg CO₂e以下のカーボンフットプリントを持つことになります。

ビジネスとしての成長を管理するため、この数値は単品毎の目標となっています。しかし信頼できる気候変動改善目標は絶対水準での排出量削減予測を示す必要があります。単品毎の目標は、2020年ベースラインのスコープ1、2、そして3の排出量を含む絶対カーボンフットプリントの44%減に相当し、これには成長予測も考慮されています。Science Based Targets initiative (SBTi)に沿って製品使用の排出を除いても、**2020年ベースラインに基づいて2030年までスコープ1から3までの絶対排出量を42%減らす目標です。**

この目標は第三者機関によって-1.5°Cへの道筋を含むSBTiの条件を満たしていると認証されています。-1.5°Cに向けたカーボン排出量削減目標は排出量ゼロに向けて不可欠なものです。こちらについても正式な検証を得るため、SBTi提出します。




上記のカーボン削減ターゲットとその達成プランを見ると、私たちのサステナビリティ計画は業界でも最も目標設定が高いと言えるでしょう。Allbirdsのセクター内で40社はSBTiを設定していますが、そのうち7社のみがスコープ3までの-1.5°Cカーボン削減ターゲットを持っており、その削減プランについては詳しく示されていません。今は大胆な目標と大胆な行動が必要な時です。私たちの2030年目標は決して非現実的ではありません。すべての答えはまだありませんが、カーボン排出ゼロを実現するために必要なことが何かは分かっています。



Allbirdsの基盤

5つの基本ポイントである公正な労働、水、化学、動物福祉、そしてトレーサビリティと透明性についての目標も明確化しています。これらの詳細な目標設定によって5つの基本ポイントが計画の基盤となっています。

基本ポイント	取り組み	目標
公正な労働 人権、賃金、多様性&ジェンダー平等、労働に関する健康&安全性、道義的行為    	<ul style="list-style-type: none"> 行動規範や適切な調達ガイドラインをウェブサイトなどに記載して誰でも簡単に見られるようにする 監査体制を更新し、T1やT2サプライヤーに適用する 工場監査結果に基づいた主要基準を公開(特定されたリスクや改善法など相互承認プログラムをサポートし監査による疲労を軽減するためその他のブランドと協力する) 全T1サプライヤーに対して賃金分析を行う サプライチェーンに含まれる従業員が意見や提案、自分たちの権利についてコミュニケーションが取れる体制を保証する サプライチェーンの従業員達をサポート、特に気候変動で影響が大きい地域にいる従業員に対して自分たちが公正なビジネスパートナーとして務められているかを確認するため、購買業務の社内監査を行う 社会的責任やサステナビリティについて社内チーム向けに研修や参考資料などを提供する 	<ul style="list-style-type: none"> T1やT2サプライヤーの100%はAllbirds CoC及びレスポンシブルソーシングプログラムに責任を持つようになる T1及びT2サプライヤーの100%が「グリーン」もしくは「イエロー」評価を達成 T1及びT2サプライヤーの100%がHigg FSLMを完了 T1工場スタッフの100%がワーカボイスプログラムに参加できるようにする 製品及びソーシングチームの100%がレスポンシブルソーシングについて研修を受ける
水 	<ul style="list-style-type: none"> T1及びT2での水消費量について測定 現サプライチェーンが水が少ない地域にどのような影響を与えているか監査する サプライヤーとともに対話し、水の消費量を減らす目標設定を行う 	<ul style="list-style-type: none"> T1及びT2サプライヤーの100%がHigg FSLMを完了
化学 	<ul style="list-style-type: none"> シューズとアパレルのようにRSLとMSRLを作成し、全T1及びT2サプライヤーに通達する 試験プロトコルを含む化学品管理プログラムを定める 試験プログラムについてT1及びT2に通達 認証や業界イニシアチブについて評価する(Bluedesign、ZDHCなど) 廃水品質プログラムを定め、T1及びT2廃水をモニタリングする 	<ul style="list-style-type: none"> T1サプライヤーの100%がMRSL及びRSLに遵守し、T2の100%がMRSLに遵守100% アパレル製品の100%が健全な化学基準を満たしている(OEKO-TEX®基準値100以上) T及びT2サプライヤーの100%が廃水排出許可に遵守

基本ポイント	取り組み	目標
動物福祉 	<ul style="list-style-type: none"> 以下を含む公式な動物福祉ポリシー： 1)最高基準の動物福祉、2)適切な土地管理について最高基準の手法 先進的な動物福祉や土地管理手法を採用するサプライヤーを優先させる 最高基準の動物福祉に貢献する業界グループやイニシアチブに参加する 	<ul style="list-style-type: none"> 最高基準の第三者基準（ZQ Merinoなど）を満たす動物性繊維を100%調達し続ける ウールの100%を再生型素材元から調達する
トレーサビリティ及び透明性  	<ul style="list-style-type: none"> 全サプライチェーンについて把握を続ける（T1からT4まで） ウェブサイトに工場リスト及び主要サプライヤーを記載 全サプライヤーに厳しい透明性基準を適用し、数値や基準についてもウェブサイトに記載する 全主要素材について正式な第三者認証プログラムを適用する 全Allbirds製品へのカーボンフットプリントラベリングを続ける 	<ul style="list-style-type: none"> T1からT4サプライヤーを100%把握する T1からT4サプライヤーの100%をウェブサイト公開する 主要素材の100%が第三者認証されている Allbirds製品の100%がカーボンフットプリントラベリングされている

*T2=部品、装飾、加工、繊維、裁断

ステークホルダーレビュー

Allbirdsのサステナビリティ計画にとってステークホルダーの意見は重要なものでした。まず従業員やお客様、サプライヤー、役員、投資者、そして私たちのコミュニティのグローバルメンバーから意見を集めました。次にそれらの意見を元に目標とそれに伴う影響、そして実現性について検討しました。大胆な目標設定だけでなく、それを達成するための必要投資などを含む明確な道筋を作ることも大切でした。そして最後に導き出した結論を再びステークホルダーに公開し、フィードバックをもらいました。

ステークホルダーレビューには私たちのビジネスにとって主要な立場の方々の意見も含まれています。例えばサステナブルビジネスの専門家や環境関連非営利団体、政策立案者、業界関連組織など。さらに Drawdown Labs、Environmental Defense Fund、Bain & Company、McKinsey & Company、Global Fashion Agenda、B Lab、Regina Miracle、New Zealand Merino Company、そして Allbirds Allgood Collective など多様な専門的グループからのフィードバックも盛り込まれています。Allbirdsのビジネスに関与するこれらステークホルダーの意見をまとめることは、この包括的なプランを組み立てるために不可欠なステップでした。

Allbirdsのアプローチ

気候変動の逆転は現世代と、おそらく次世代にとって最も重要な課題でしょう。社会全体としてどのように対処するかはビジネスだけでなく、人々のコミュニティーや国家、環境、そして様々な生物の未来を左右します。Allbirdsはビジネス面でのあらゆる決断において、環境改善や環境への影響の緩和について考慮し、シューズとアパレル業界を改善する方法を常に模索しています。

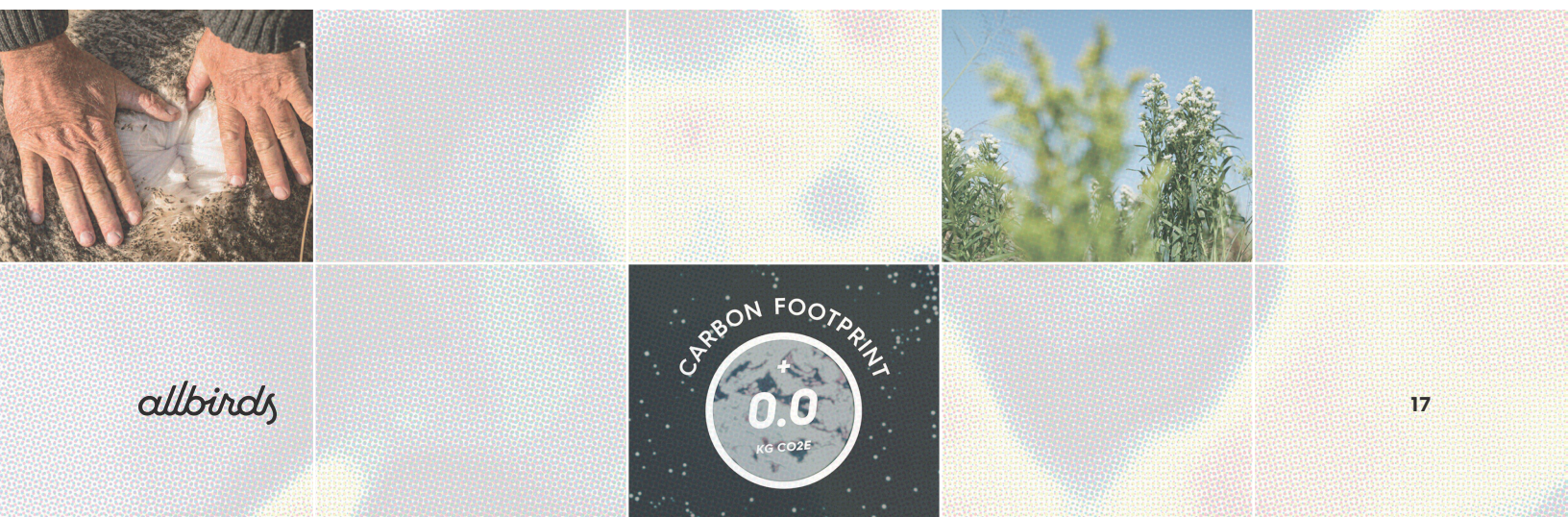
私たちはできるだけ大きな変化を起こせるよう、最も大きな課題に取り組みたいと考えています。気候変動はいくつもの要因が重なり合う複雑な問題です。よって私たちは自分たちでコントロールできる分野に力を注いでいます。すなわちより良いビジネスのやり方によって気候変動を逆転させることです。そのために統計及びデータを用いたアプローチと、より大きな効果が期待できるシステムやツールへの投資を続けています。

気候変動に対する私たちのアプローチには3つステップがあります：測定、削減、そしてビジネスの過程で発生する環境負荷のオフセットになります。

測定

気候変動は複雑な問題ですが、原因はシンプルに説明できます:気候変動は大気圏中に増え続けている炭素量によって起きているのです。Allbirdsはウールランナーという最初に開発した製品から、製造に伴うカーボン排出量の測定を続けています。なぜなら何かを減らすためにはその量を測定する必要があるからです。私たちが集める情報は製品デザインや開発についてだけでなく、カーボン排出量が最も多い要因の特定や、最も有効な手段を優先させるための参考となります。

Allbirdsは2020年から全製品のカーボンフットプリント(温室効果ガス)を一般共有し始めました。理由は2つあり、1つは環境への影響を継続的に減らすという責任を負うため。そしてもう1つはお客様自身に購入する製品が環境に与える影響を認識してもらうためです。キャッチーなマーケティングメッセージに惑わされ、購入した製品の環境への影響について情報が無ければ、より環境に配慮した選択ができません。製品が地球に与える影響をはっきりと示すことによってお客様は初めて選択することができます。私たちの希望は同じ業界の企業がこの考えに賛同し、それぞれの製品にもカーボン情報を表示するようになることです。そしていつか、食品の栄養表示と同じように様々な製品のカーボンフットプリントを比較できるようになることです。これによってその他の企業間でカーボンを削減、それに向けて生産的な競争を生み出すことができるでしょう。最近では世界中で様々な企業がカーボンフットプリントラベリングの開始を発表しております。さらに多くの企業も続くことを期待しています。



Allbirdsのカーボンフットプリント

私たちはカーボンフットプリントを測定するために5つ製品ライフサイクルステージを測定します。それが素材、製造、輸送、お客様による使用、廃棄になります。

- 素材:** 大部分を占めているステージですが、天然素材をなるべく使用することによってこの数値を大きく減らすことが可能だと信じています。
- 製造:** 価値観を共有し、効率良く製造できるパートナーと協働することによって、再生可能エネルギーに変換する際の消費量を削減することができます。
- 輸送:** これには工場からお客様へ、そして返品までを含む全製品のあらゆる輸送プロセスによって生み出される排出を含みます。輸送は元々の製品カーボンフットプリントラベルに含まれていませんでした(詳細については以下参照)。
- お客様による使用:** 製品の使用と洗濯は繰り返されるため、洗濯に伴うエネルギー消費量にも気を使っています。
- 廃棄:** 一般的には埋め立て地などに廃棄されますが、製品の最終処分に伴う排出量を測定します。

輸送に伴うカーボン排出量はお客様の所在地によって大きく異なるので、以前までは企業全体の排出量として別にまとめてありました。2021年からは輸送に伴う排出量も製品カーボンフットプリントに含め、これには企業全体の平均データを用いて製品の工場から倉庫、倉庫からお客様もしくは店舗、そして返品などの輸送も含みます。さらにスコープ1から3までの全体的な温室効果ガス排出量も(温室効果ガス測定のカテゴリに広く用いられているシステムです)今後のレポートに記載する予定です。

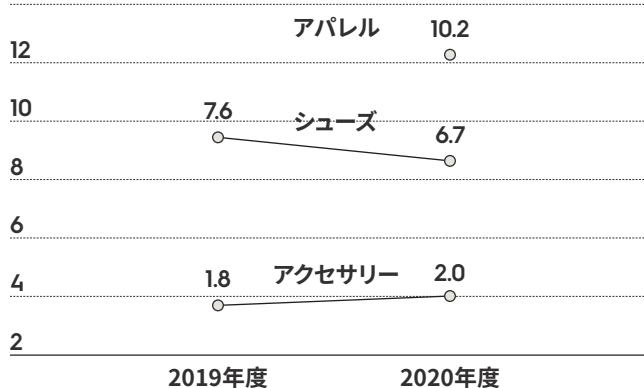
2020年のAllbirdsシューズの平均カーボンフットプリントは7.6kg CO2eでした。これは一般的なスニーカーのカーボンフットプリントである12.5kg CO2eより約40%低い数値です。(輸送排出量を除く)

カーボンフットプリントが示されている製品の割合

	製品数	カーボンフットプリント表示製品の割合
2019年度	12	100%
2020年度	38	100%

あらゆる決断に伴う環境への影響と、カーボン排出量を抑えた素材やプロセスを優先させるためにAllbirdsの全製品はカーボンフットプリントを測定します。2020年以前まで、これらの測定された数値は社内向けに公開されていました。

平均カーボンフットプリント (kg CO2e/製品)



私たちは2020年にリサイクルポリエステルへの変更やカーボン排出量がより低いベトナムに製造地を移すなど、シューズ製造に関する調整を行いました。結果としてさらに低い、6.7kg CO2eのカーボンフットプリントを達成することができました。2020年にアクセサリ製品の平均カーボンフットプリントが若干増えましたが、これはアンダーウェア製品の展開によるものでした。



削減

私たちはこのステージに最も力を注ぎます。カーボンフットプリントを測定し、最も影響が高い要因を特定できたら、その影響を抑えるための取り組みについて考えます。Allbirdsはカーボン削減のために以下3つの主要分野に注目しています:

再生型農業



再生可能素材



環境的責任のあるエネルギー



再生型農業

素材のイノベーションや、カーボンフットプリントの低い天然素材をなるべく使用することは大切です。しかしこれからのことを考えると環境への負担を減らすだけでなく、さらにポジティブな変化を生み出す仕組みが必要です。だから私たちは再生型農業を気候変動に対する解決策として注目しています。

適切な農業マネジメントによってウールは低カーボン、もしくはカーボンネガティブな素材となり得ます。また、土地や植生も羊が排出するより多くのカーボンを吸収できるように整えることが可能です。再生型農業は農業という分野にポジティブな変化を生み出すきっかけになるだけでなく、地域のコミュニティーや生物多様性、エコロジー、そして農地の長期的活用など多くの利点を与えてくれます。Allbirdsはこの手法に関する研究や開発を全面的にサポートしています。



「再生型農業と気候は密接に関係しています。まさにこれまで排出してきたカーボンを元に戻すような手法なのです。」

ポール・ホーケン 環境活動家 & Drawdownの共同作者



再生型農業の大いなる可能性

再生型農業は土地を包括的に管理する手法です。被覆作物やコンポスト、輪作、そして頻度の少ない耕起回数などによって排出量より多い量のカーボンを吸収し、気候変動を逆転させるポテンシャルを秘めています。

地中にあるカーボンの最低でも50%が、大気圏に排出されてしまっていると考えられています。農業や林業、そしてその他の土地利用の総排出量は地球上全体の排出量の約4分の1とされています。詳しいカーボン吸収率はレポートによって異なりますが、IPCC(気候変動に関する政府間パネル)によると気候変動を逆転させるためには10年以内に農業システムを劇的に変化させる必要があると伝えています。

再生型農業を通じたカーボンの吸収は人間と環境の健康状態、そして世界中の農家の経済的状況を改善させるきっかけとなるでしょう。

再生型ウールサミット

2020年の3月にAllbirdsはニュージーランドメリノとともに再生型ウールサミットをニュージーランドのクライストチャーチで開催しました。パートナー農家やその他のブランド、そして専門家などを招いて再生型農業のポテンシャルについて意見を交わしました。

目的は再生型農業の可能性について考え、会話を始めるきっかけ作りでした。環境問題においてまだ新しい分野なので、展開するためには全員で対話をする必要があります。サミット開催以降、私たちはニュージーランドメリノと共にZQRXという新しいプラットフォームを通して再生型農業をサポートすると決め、これによって160以上の農家が再生型農業を採用することができるようになりました。

再生型農業に関する情報集めのスピードアップと人々の関心を高めるためには協力が不可欠です。この手法の利点について同じビジョンを共有することができれば、気候変動の逆転に向けた大きな一歩となるでしょう。



再生型農業の課題

再生型農業についての研究は徐々に進められていますが、カーボンの貯蓄量の定量化はまだ新しい分野の研究のため、大きいスケールでの適用にはまだ時間がかかります。さらに再生型農業が広く採用されるためには行政レベルでの改革案、信頼できる専門アドバイスの少なさ、奨励金、そして個人及び集団としての農業に対する姿勢の変化など、様々な課題も残っています。Allbirdsはこの分野の研究に貢献し、より環境に配慮した農業形態を発展及び啓発していきたいと考えています。

革新的素材

ウールはAllbirdsが最初にしたサステナブルな天然素材でした。しかしこのビジネスに参入した大きな理由の1つは、シューズやアパレル向けにさらなる天然素材の模索と開発でした。すでに存在する素晴らしいサステナブル素材がある場合は喜んでそれを使用します。しかしまだ存在しないサステナブル素材を開発する場合、私たちは自分たちのためだけでなく、その他の企業も参入できるマーケットを作ります。ユーカリ繊維、そしてサトウキビなど、イノベーションを追求することによって私たちはサステナブル素材革命のリーダーとなりました。

素材がどこで調達され、どのように作られるかを把握するのは大切です。多くの企業はすでに出来上がった素材を購入しますが、私たちは使用する主要天然素材のサプライチェーンから原料レベルまで調査し、最高レベルの環境基準を満たしていることを確認します。

ウール

メリノウールはAllbirdsの代表的な素材です。通気性と耐久性に優れた再生可能な天然繊維です。そして私たちは適切な手法でメリノウールを使用しています。

この事業は羊が飼育されている牧場まで追跡できるサプライチェーンを構築できるチャンスだと私たちは考えていました。Allbirdsはウールの出どころだけでなく、羊が誰にどのように飼育され、その土地がどのように管理されているかも把握するようにしています。信頼とポジティブな変化を形成するには人同士としての繋がりが必須だと考えているため、ZQ認証ウールを提供してくれる農家と長期的な関係と契約を結んでいます。契約農家へ頻繁に赴き、カーボン吸収研究プロジェクトのサポートも行なっています。農家は直接的なやり取りを歓迎してくれ、ウールの未来のためにも健全でサステナブルな環境に対する取り組み作りに誇りを持っています。

ウールや他の天然素材の生産はカーボン吸収源となれるポテンシャルを持っています。例えば土地が飼育される羊が排出するカーボンより多い分量を吸収できる仕組みなど。羊が排出するメタンはウールが生み出すカーボンに寄与しますが、私たちは再生型農業によってウールをカーボンネガティブにする方法を探しています。



好ましい素材

Allbirdsは素材を選ぶとき、好ましい素材のガイドラインを参考にして品質とサステナビリティを保つようにしています。その際に3つのポイントがあります：

1. 自然に対する責任

私たちは最終的に完全な再生可能な素材に転換する必要があります。天然素材も環境に影響を与えますが、再生型農業やクローズドループ生産などによってAllbirdsはこれらの素材のカーボン吸収源としてのポテンシャルを引き出そうとしています。

2. 最小限のカーボンフットプリント

使用する素材はカーボンを必ず排出します。繊維から糸、そして製造から仕上げなどあらゆる生産過程において最小限のカーボンフットプリントにとどめる方法を模索します。

3. 少ないことによる、大きな効果

より軽く、よりシンプルでより生産過程が少ない方が地球にとって負担が減ります。

ツリー

暖かくて快適なウールの開発で成功を収めると、私たちはより軽量で通気性のある素材を求めました。そしてそれがシューズでこれまで見落とされてきたもう1つの天然由来繊維である、テンセル™リヨセルでした。

オーストリアの製造業者であるLenzingはユーカリ由来のテンセル™リヨセルを90年代から製造していました。ユーカリの木は非常に効率よくカーボンを吸収し、それによって成長スピードを高めます。雨水だけに頼り、コットンなどとは比較にならないほど少ない量の殺菌剤で生育します。この繊維は毒性の低いクロズドループプロセスで製造され、使用される水のリサイクル率は99%です。

2018年にAllbirdsは北アメリカで初となる、テンセル™リヨセルを使用したForest Stewardship Council (FSC) 認証シューズをリリースしました。FSC認証された製品は環境や社会そして経済にとって有益となる、正しく管理された森林で調達されていることを保証します。2019年にAllbirdsはその取り組みに対してFSCリーダーシップアワードを受賞しました。



SweetFoam™ (スウィートフォーム)

私たちは以前、自分たちが開発したシューズは3分の2まで完成した製品と表現していました。なぜならシューズのアッパー部分とインソールについては天然素材を使用していましたが、EVA (ほとんどの靴底ソールに使用される石油由来の素材) に取って代わるものがなかなか見つからなかったためです。どこかに良い代替素材がないかと探しましたが、最終的には自分たちで開発するしかないという結論に至りました。

そしてその答えはブラジルのサトウキビ畑にありました。私たちはサトウキビという天然素材が、成長と共に効率よくカーボンを吸収する特性を持っていることを知りました。そして成長が早く、雨水のみを必要とする完全に再生可能な素材なのです。さらに加工される際に出る副産物は翌年の肥料として利用されます。

サトウキビ由来のミッドソール素材であるSweetFoam™は、これまでソールに使用されてきた石油由来素材に取って代わる答えとなりました。ソールに使用される石油由来のEVAを1トン製造するには2.8トンのCO2eが排出されていました。しかし私たちのアイデアとBraskemの協力で開発された、SweetFoam™に含まれる環境に優しいEVAは、1トン製造される製品ごとに1.2トンのCO2eを逆に吸収しています。この技術が完成すると、私たちはそれをシューズ業界や

その他の業界とも共有しました。2018年にはTIMEマガジンによってその年の最も優れた発明に認定され、多くの企業からもSweetFoam™の技術に関する問い合わせをいただいています。私たちは大胆なアイデアやイノベーションを共有することによって、サステナビリティを優先させたビジネスの流れを作れると信じています。



素材のさらなる追求

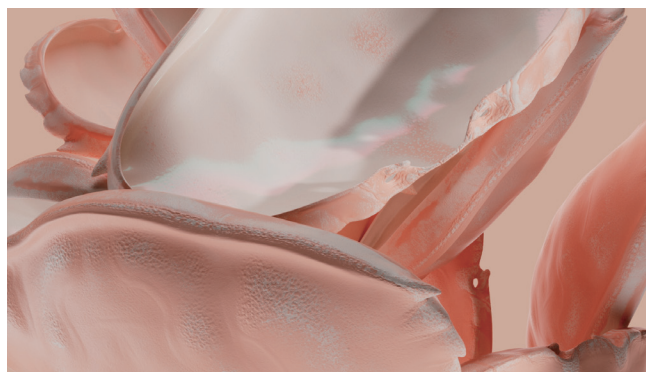
基本天然素材を開発した今、Allbirdsはこれらの素材をサステナブルで効果的な技術を用いて、いかに発展できるかを研究しています。

例えばウールは暖かいですが防水効果はありません。私たちはウールランナーミズルという撥水ウールシューズのアイデアを思いつきましたが、ほとんどの撥水剤は環境に影響を及ぼす化学成分を含んでいます。そこで非常に繊細なZQメリノウールを使用して少し厚めの繊維を作り、OEKO-TEXの厳しい基準を満たしたフッ素ゼロのECO PASSPORT認証撥水コーティングを加えました。さらに湿気に対応するため、通気性のあるバイオベースシールド (Puddle Guardと呼ばれています) をウールのアッパー部分に入れました。

もう1つの例としてTrino™があります。これは適切な手法で調達されたユーカリ繊維をZQメリノウールと組み合わせた素材です。原糸生産者や紡績業者、そして繊維メーカーと協働でこの柔らかく通気性の高い素材を開発し、サステナブルな手法で調達された素材を使用することによって環境に負担のより少ない、快適なアパレルを作れるようになりました。

さらなる進化:TrinoXO™

キトサンという天然由来の繊維を加えることによって私たちはTrino™をさらに進化させることができました。この素材は適切な手法でズワイガニの殻から抽出されます。純粋なキトサン繊維による天然の防臭効果を持った初の日常アパレル向け繊維です。そしてキトサンは地球上で2番目に多いバイオポリマーでもあります。この天然素材によって私たちは亜鉛や銀などの抽出性素材を使用せずに、防臭性のある製品を作ることに成功しました。繊維の品質も長持ちするので洗濯と乾燥の頻度も少なく済み、結果として製品寿命までのカーボンフットプリントを削減することもできます。



その他の素材展開



リサイクルボトル

1本のリサイクルプラスチックボトルは1組のAllbirdsシューレースに相当します。



ヒマシ油

ヒマシ油によってインソールの天然由来成分を高めることができます。



バイオTPU

Allbirdsシューズのアイレット (シューレースの穴) は植物中の糖分を吸収する微生物のおかげで作られています。

素材の認定制度

できるだけ最高基準の天然素材を使用するため、Allbirdsは厳しい企業認証制度に準じています。適切に調達されていない原料は動物や森林、そして人権に対してリスクを抱えている可能性があります。私たちはプライマリー天然素材の調達元まで確認し、サプライチェーンのあらゆる段階で責任ある手法が採用されているよう認証制度を通して保証しています。

現在Allbirdsの原料認証制度はZQメリノウールと植物由来製品(テンセル™リヨセル、天然ゴム、パッケージング)のFSCになります。さらに天然素材を製品に使用するとともに、それらに最適な認証制度も検討します。

第三者認証ZQ	ウールの割合		
2019年度	100%		
2020年度	100%		
第三者認証FSC	テンセル™の割合	天然ゴムの割合	パッケージングの割合
2019年度	90%	100%	90%
2020年度	72%	100%	96%

信頼できるパートナーであるニュージーランドメリノカンパニーを通して、私たちのウールは100% ZQ基準を満たしています。FSCは原料及びCoC認証を必要とし、植物由来の素材に関わる全ての業者が認証されています。これによって素材の仕分けや加工において、適切な手法が用いられていることが保証されます。テンセル™リヨセルについても認証されている原料を調達していますが、製品のリリースタイミングに間に合わない場合は完全なCoC認証を得られないこともあります。2020年は新製品展開のため、FSC認証のテンセル™リヨセルの割合が90%から72%になりました。完全なFSCのCoC認証を得るため、現在も各業者との取り組みを続けています。天然ゴムとパッケージングのFSC認証の割合が高い理由は、すでに各業者がFSCのCoC認証を受けているためです。

素材の認定制度

概要



ZQは農家が最高基準の動物福祉、環境保全、そして社会的サステナビリティを満たしていることを認証します。ZQは羊が何を食べるか、飼育されている土地の広さ、ウールを刈る時の羊の扱われ方と輸送手段などを注意深くチェックします。全てのZQ農家は3年ごとに第三者によって監査を受け、環境改善プランを毎回求められます。



FSC(森林認証制度)認証は森林破壊、生物多様性、そして昔からその土地に暮らす人々など全体的に網羅します。FSCの木々は自然のサイクルと同じ効果を生むように調達されます。例えば、若い木が育つように古い木を伐採してより健康的な生態系を保ちます。植物由来製品にはFSC認証原料を調達し、完全なCoC認証を得られるようサプライチェーンの各パートナーが認証を取得するための努力を続けています。これには工場の詳細なレビューと監査が必要となります。工場の認証プロセスが完了していない場合、時には完全なCoC認証ではなく、FSC原料のみで製品がリリースされることもあります。

パッケージング

Allbirdsはパッケージングにも環境への配慮を欠かしません。環境への影響を最小限に抑えるため、機能性やカスタマーサービス基準を満たしながらパッケージングそのものと材料を減らしています。使用後もリサイクルでき、追跡できるリサイクル材料を優先して使用します。例えばFSC認証リサイクルダンボールや大豆由来インクを使用、リサイクル率を高めるために粘着物質を抑える、そして使い捨てプラスチックバッグやバイオプラスチックを避けるなどを行なっています。



	パッケージングの総重量(トン)	リサイクル及び再生可能素材で作られている割合	リサイクル可能、再生可能、コンポスト可能な割合
2019年度	989	100%	100%
2020年度	1,065	100%	100%

現在はプラスチックバッグをより多く使用するアパレルの分野にも参入しているため、サステナブルなパッケージングに特に力を入れています。天然素材を使用した新しい画期的なパッケージング素材もあり、プラスチックの代わりとなるポテンシャルを秘めています。そしてデザインによってシューズパッケージングに使用されるダンボールの量を減らす研究も続けています。

再生可能素材とその課題

天然素材は合成素材より、耐久性が低いこともあります。耐久性を優先させる場合はバージン合成素材ではなく、リサイクル合成素材を使用してベースとなる天然素材を強化します。同時に天然素材のパフォーマンスを強化できるよう、新しい技術の開発も進めています。



環境的責任のあるエネルギー

エネルギーはあらゆる場面で必要なので、サプライチェーンにおいてどれだけ減らせるか、そしてそのエネルギーのカーボン強度についても私たちは気を使っています。Allbirdsが環境に与える影響を減らす上で重要な要素なので、業者とのコラボレーションによるエコな生産方法や輸送によるカーボン排出量の削減、製品の使用フェーズ、そして店舗及びオフィスでの再生可能エネルギーの確保などに常に気を使っています。

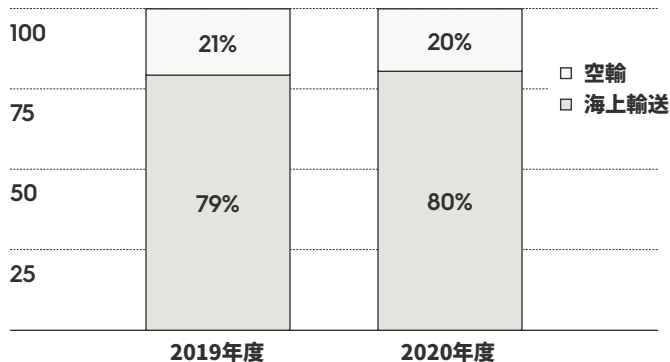
製造: サプライチェーンにおけるエネルギー

私たちのパートナーである工場も環境に影響を与えています。よってパートナーは注意深く選び、最適な手法を採用する業者のみとチームを組みます。よりエコな電力供給網に位置する工場を選択し、エネルギーも低カーボンもしくはカーボンゼロの供給源からの調達を薦めています。もちろん、よりサステナブルな手法への切り替えには時間が要することも承知しています。パートナーと共にエネルギー効率の改善や再生可能エネルギーへの転換に向けて取り組むことによって全員が良い結果を期待できるでしょう。

輸送: 製品の配送

製品輸送に関わるエネルギーの理解と測定、そして削減への取り組みなしでは総合的なカーボン排出量の正確な評価は不可能です。グローバル化が進み、製品は製造された場所から遠く離れた場所へ最終的に届けられます。よって私たちは海上輸送をできる限り優先させるようにしています。

インバウンド輸送方法



コロナウィルスの影響があった2020年ですが、インバウンド輸送の80%が船によるものでした。空輸は船に比べて47倍もカーボン排出量が多いので、私たちはできるだけ海上輸送を優先します。

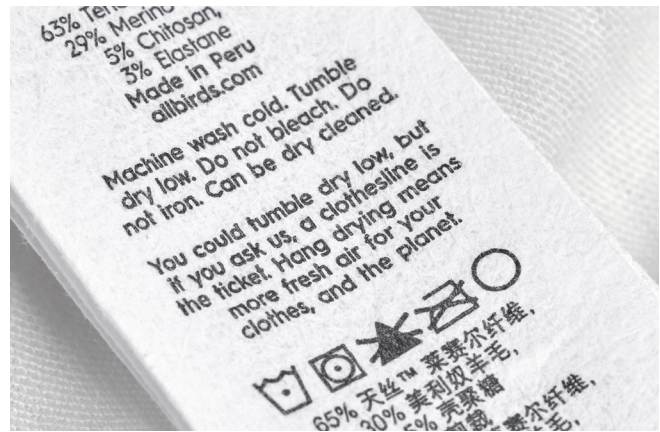
運営: オフィスや店舗

Allbirdsは企業としての規模は小さいため、物理的に必要なエネルギーはそれほど高くありませんが、私たちのような小さい組織が集合的な購買力によって再生型エネルギーの需要を高めるモデルを作りたいと考えています。Allbirdsのサンフランシスコ本社オフィスでは100%再生型で、コミュニティーにとって割安かつ扱いやすいエネルギーを提供するCleanPowerSFを使用しています。2020年からはアメリカ及びカナダの店舗や倉庫はコミュニティー運営の再生型エネルギープロジェクトからの再生型エネルギークレジットを使用しています。



製品の使用:お客様による洗濯と乾燥

シューズの洗濯頻度は低いため、現在での製品使用段階の排出量は高くありません。しかし洗濯乾燥機の使用頻度が高いアパレル製品をより多く製造するとなると、カーボン排出量は増えると予想されます。今はお客様に対して生地へのケアを伝える方法を、まずは製品ラベリングから開始しています。2020年にはカーボン排出量を減らすために乾燥機を使用せず、天日干しを促すラベリングを展開しました。



クリーンエネルギーの課題

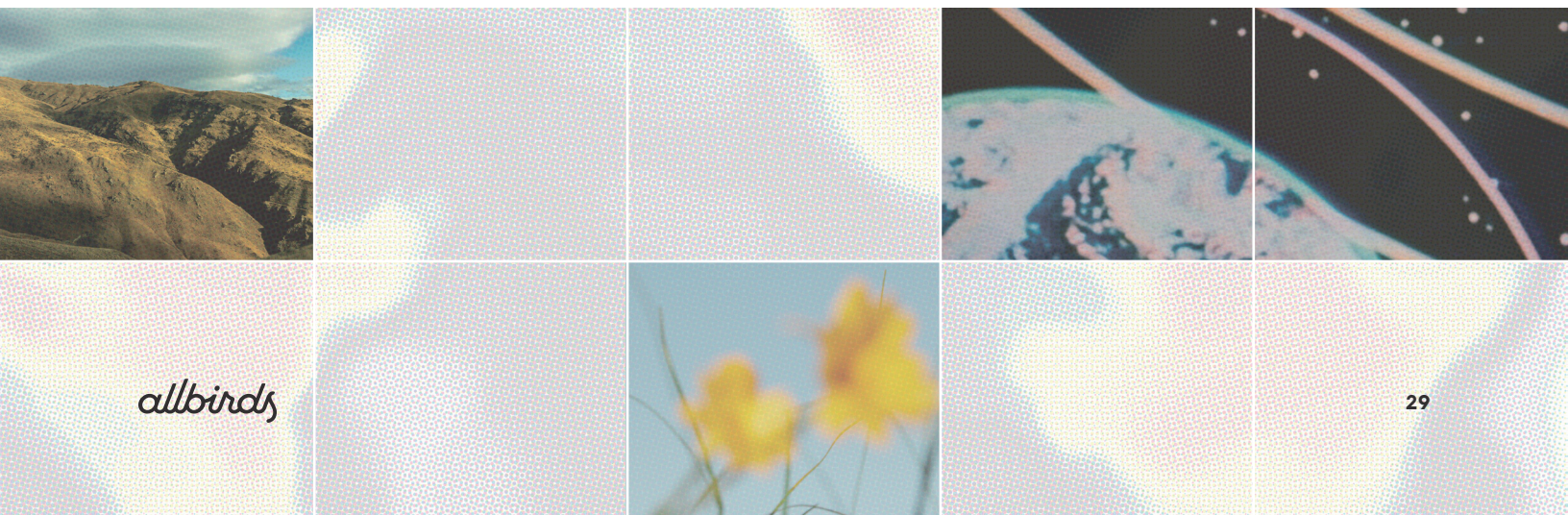
私たちは小規模な企業なのでエネルギー消費量も少なく、工場も所有していません。よって消費されるエネルギーの大部分はパートナー業者に依存します。そして生産拠点は世界各地にあるため、その調整やコントロールは容易ではありません。また、私たちは製品のライフサイクル全体に責任を持ちたいと考えていますが、お客様が製品ケアの際に使用するエネルギーまではコントロールすることはできません。



オフセット

私たちはカーボン排出のオフセットに取り組んでおり、自分たちを含め全ての企業が環境に与える影響に対する責任を負うべきだと考えています。よってカーボンゼロの目標を達成するまで、私たちは排出するカーボンに対して責任を負い、カーボンフットプリントを中和できるオフセットプロジェクトなどに投資を続けます。

カーボンオフセットは個人及び企業が、自身のカーボンフットプリントのバランスを保てるよう、世界中の環境プロジェクトに投資する機会を作っています。これには「お金を払うことによって環境へ負担をかける言い訳だ」という意見もありますが、現在の環境問題に発展した原因は、企業が何の対価も払わず汚染をし続けてきたからだとも言えます。Allbirdsはカーボン排出量を100%オフセットしており、このことに誇りと責任を持っています。これによって問題が解決できるわけではありませんが、イノベーションや再生型農業、そしてクリーンエネルギーを通して排出量を減らす取り組みの中で重要な要素の1つなのです。



今からカーボンニュートラルになるために

Allbirdsはオフセットを開始した時に輸送関連の排出にまず目を向けましたが、それだけでは効果は薄いとすぐに気づきました。そこで今すぐカーボンニュートラルになるため、2019年のはじめに各事業が直接関わる排出やサプライチェーン全体(農家に飼育されている羊を含め!)のカーボン排出など、各分野のカーボンをオフセットすることにしました。

カーボンオフセットの割合

2019年度	100%	100%	100%
2020年度	100%	100%	100%

Allbirdsはスコープ1、2、3共に100%オフセットを達成しています。企業によってはスコープ1と2のみ排出量をオフセットしていますが、私たちはビジネスに関わる全てのカーボン排出に責任を負っています。排出量の大部分はサプライチェーンにおいて発生するので特にスコープ3に注意しています。

Climate Neutralの創設メンバー

Climate Neutralは企業が排出するカーボンを測定、オフセット、そして削減するように促して世界のカーボン排出量削減を目指しています。カーボンフットプリントの測定をやすくしたり、明確なカーボンオフセットガイドラインを作成し、企業が自身でカーボン削減に務められるようサポートしています。そしてAllbirdsはこのClimate Neutralの創設メンバーなのです。



Montana Grazing Project Allbirds 2019年 カーボンファンドプロジェクト

カーボンファンドプロジェクト

私たちはパートナーであるBCorpやNative Energyと共に、高水準オフセットを購入することによってカーボン排出の削減を続けています。そして同時にカーボン排出ゼロを達成するための方法についても取り組んでいます。Allbirdsがサポートする全てのカーボンオフセットプロジェクトは、Gold StandardやVerified Carbon Standard、そしてClimate Action Reserveなど最高基準の第三者認証を受けています。

	2019年	2020年
土地 	Envira Amazonia Projectとパートナーシップを組み、494,000エーカー相当の危険にさらされているブラジルの熱帯雨林の保護をコミュニティ投資を通じてサポートしています。アマゾンには200万以上の動植物が生息し、カーボンサイクルにおいて大事な役割を担っています。	私たちがサポートしているArgentina Regenerative Woolは農家が土地の健康状態を改善するための先行投資機会を与えます。プロジェクトの第1フェーズは30年で100,000トンのカーボン排出量を削減できると予想されています。
空気 	私たちが投資しているCitrus County Landfill Gas Destructionプロジェクトは年間で約13,674トンのCO2eを吸収しています。	Sichuan Clean Cookstovesは中国四川省の低所得者層に石炭や薪の代わりとなるバイオガス浄化槽や効率的な調理用コンロを提供し、人々の生活と地球環境の改善を手助けしています。
エネルギー 	Big Smile Wind Farmの風力タービンが年間に排出するカーボンのうち339,000トン削減し、46,000以上の世帯に十分なエネルギーを供給することができます。	Capricorn Ridge Wind Projectは年間で平均160,000トンの温暖化ガスを削減しています。地元の人を雇うことによって地域の税基盤にも貢献し、その土地が農地として使用できるように努めています。
他のプロジェクト	Native Energyとのパートナーシップによって、Montana Grazing Projectで再生型農業を採用する農家をサポートしています。第1フェーズで33,000エーカーの土地をカバーし、それによって年間で10,000トンのカーボンを吸収できると予想しています。	Native EnergyのNew Renewables Portfolioを通して新しいコミュニティ規模の再生可能エネルギープロジェクトをサポートしています。この取り組みはREC (再生可能エネルギークレジット) が私たちのサポートを受けたプロジェクトから作られることを保証します。

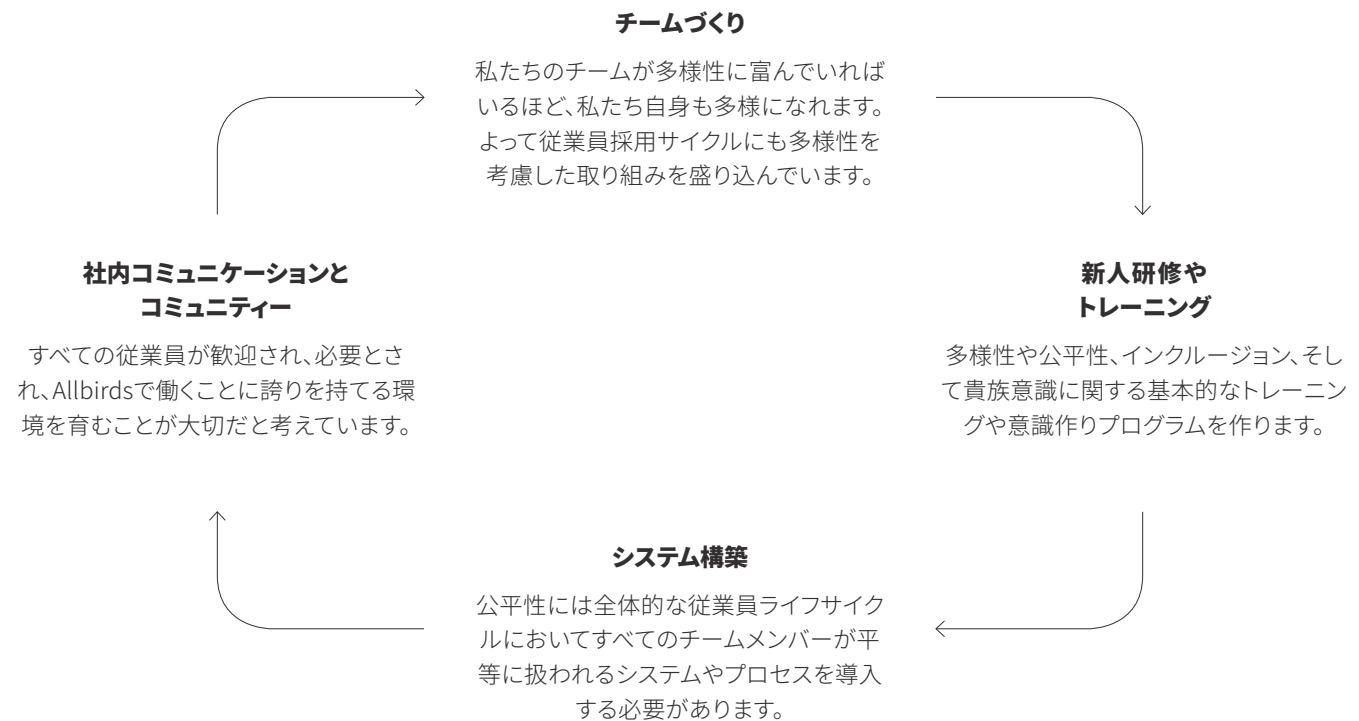
Allbirdsのビジネス

パブリックベネフィットコーポレーション (PBC) 及びB Corpとして、Allbirdsは環境と同時に従業員やサプライヤー、そしてコミュニティーを含む全ステークホルダーを考慮する責任があります。私たちの使命を持ったアプローチは共同創業者たちと情熱を持ったAllbirdsチーム「Flock」のビジョンが軸となっていて、それはサプライチェーン全体に共有されています。どのように物を作り、誰をパートナーに選ぶかは製品のクオリティーと同じくらい重要なことです。

Allbirdsのチーム「Flock」

Allbirdsのビジネスは「Flock」と呼んでいる従業員チームから始まります。B Corpとして従業員は私たちのビジネス、そしてその枠よりさらに広がるコミュニティーにとって重要なステークホルダーです。

多様性や公平性、インクルージョン、そして帰属意識（DEIB）を持った組織作りは、かつてないほど重要なものとなっています。そのような価値観は私たちが取るすべての行動の根底に必ずあるべきです。あらゆる事柄において私たちは人種やジェンダー、背景、文化、社会的及び経済的ステータス、年齢、そして性的指向に多様性を積極的に歓迎します。このDEIBを増やすためにも、私たちは様々なプログラムを従業員ライフサイクルにおいて活用しています。



私たちには5つの従業員リソースグループがあります：Ladybirds（女性グループ）、Queerbirds（LGBTQ+グループ）、Birds of All Feathers（多文化グループ）、Moms and Pops（父母グループ）、そしてEverybird（人種やジェンダーの平等性に焦点をおくイギリスオフィスのグループ）。DEIBを全従業員ライフサイクルにおいて増やすため、私たちは2025年までの多様性に関する取り組み詳細な目標を設定しました。

製造パートナー

Allbirdsのサプライチェーンは決して大きくありませんが、イノベーションを作り、環境負荷を減らすために業者とは強固で柔軟、そして敬意ある関係を築くために努めています。それには私たちの製品を作る方々との協力、信頼、理解、透明性、そしてその人たちの生活への配慮が不可欠となります。

Allbirdsはサンフランシスコに拠点を置いています。韓国やブラジル、ニュージーランドとペルーなど世界中のパートナーと近い関係を持っています。企業が拡大すると共に、パートナーや彼らのコミュニティに対する姿勢を尊重する関係を築きたいと考えています。特に2020年はコロナウィルスの影響によって、親しいパートナー農家や事業者との絆を再確認しました。彼らとは常に連絡を取り合い、再び可能になれば直接伺いたいと思っています。

しっかりと管理された製品ライナップによって小規模で、緻密に管理されたサプライチェーンを保つことができます。2020年も、パートナー工場と密接にやり取りをしながらシューズやアパレル製品を製造しました。

適切な素材調達

私たちの成功は製品を作る人達に支えられています。よってAllbirdsはResponsible Sourcing Programを立ち上げ、供給ネットワークパートナーの健全でサステナブルな労働環境を守り、促進しています。私たちは限られた業者とのみ仕事をし、これらの業者は率先して私たちの提示する契約やサプライヤー行動規範に賛同してくれています。私たちは全労働者が敬意を持って平等に扱われ、健康と安全に対する配慮を受けられるよう務めています。また、パートナー自身のサプライチェーンや下請け業者についても透明性を求めています。

Allbirdsは全てのTier1主要工場に独立した、専門的な第三者ソーシャルアセスメント業者に現場評価を受けるよう求めています。また、WRAP (Worldwide Responsible Accredited Production) や SMETA (Sedex Members Ethical Trade Audit) などの認知されて

いる基準に遵守し、安全で正当、人道的、そして倫理的な製造規範が整っていることを確認しています。評価項目（公表されないこともあります）には従業員に対する聞き込みや資料と記録などの確認、そして安全基準の目視検査が含まれます。

さらにサプライヤーには評価後のフォローや改善を可能な範囲で素早く対応することを要求し、長期的なパフォーマンスと責任を保証できるよう根本原因の分析と効率的なマネジメントの重要性を強調しています。

	Tier1サプライヤーの数	労働規範の監査を受けたTier1サプライヤーの割合	第三者監査人から監査を受けた割合
2019年度	3	33%	100%
2020年度	9	100%	100%

2020年はAllbirdsアンダーウェアとアパレル製品がリリースされたため、Tier1工場の数が三倍になりました。より厳しい行動規範を展開し、すべてのTier1工場が第三者監査人によって社会監査を受けました。



シューズ

韓国

かつて「靴の街」と呼ばれていた釜山で、手作業でシューズを組み立てています。

ベトナム

ハイフォンにある画期的なWRAP認証工場では製品を製造しています。ここで製品は編まれ、手作業で仕上げます。

中国

深圳にある工場では、編みと手作業での組み立てを行っています。この工場はWRAPの認証を受けており、中国国内で最も革新的な生産施設の1つですが、ベトナムの工場より製造量は劣ります。



アパレル

米国

100年以上もの間、最高品質の靴下を作り続けているノースカロライナ州の作り手と提携しています。

ペルー

職場や家庭でも実践できるサステナビリティな取り組みをテーマにした、環境教育やトレーニングプログラムを工場側に提供しています。

中国

セーターを編んでいる中国のパートナーは、無駄な廃棄が一切出ないように、余った糸はすべてリサイクルして再利用することを心がけています。

インドネシア

ILO (国際労働機関) の「ベター・ワーク・イニシアティブ」に基づき、現地での慣行を守りつつ法律にも準拠しております。年間プログラムには、アドバイザリー・サービスやコンサルティング・サービス、マネジメント・トレーニングが含まれています。

ベトナム

LEED認証を取得している工場では、雨水の汲み上げと再利用、自生植物のための緑地スペースなど、エネルギー効率を考慮して建設されています。

テンプルピークファーム

テンプルピークはニュージーランドにあるパートナー羊牧場の1つで、マークとアマンダ・ハッセルマンによって運営されています。ハッセルマン夫妻は再生型アプローチを採用し、生物多様性を守りながら土地の植生が育つバランスを追求しています。飼育されている羊はこの健全な生態系を形成するための役割を担っていて、植物の成長を促し、土に栄養を与え、微生物を育てています。

「より総合的な効果を生む方法で農業をしなければいけません」と語るアマンダ。「この土地に居続け、農業を続け、次世代に受け継ぐという長期ビジョンが必要なのです。」



パートナーシップ:より多くを成し遂げるために

気候変動の危機によって、私たちは非常に高いサステナビリティ目標を設定する必要がありますが、それは一人で達成できません。私たちは世界中の企業などと協力し、透明性を持って解決策を模索するため、多様なグローバルムーブメントの一員でありたいと考えています。

ファッション業界もこの複雑な課題に取り組み、サステナビリティを追求する上での役割を見出そうとしています。Allbirdsも業界グループやパートナー、そして同じ志を持つ団体などと積極的な対話と行動を続けています。

業界グループ・パートナー

概要



Sustainable Apparel Coalition はアパレル、シューズ、そしてテキスタイル業界においてサステナブルな生産を後押しする組織です。環境への不要な負担をかけない業界を作るというビジョンを持ち、関わる人々やコミュニティにポジティブな影響を与えています。Allbirdsと200以上のグローバルメンバーがSACに加入しています。私たちは共にアパレルやシューズ、そしてテキスタイルを通して意義のある、サステナブルな変化をもたらしたいと考えています。



国際的なメンバーシップを誇る**Textile Exchange**には著名なブランドや小売業者、サプライヤーなどが加盟していて、適切な素材を使用することによってテキスタイル業界の気候変動に対する行動を促しています。彼らのClimate+という取り組みは2030年までにテキスタイルファイバーや素材の生産で排出されるカーボン量を45%削減するという目標を掲げています。



Allbirdsは民間部門パートナーの共同事業体メンバーで気候変動に対抗する手段を模索しています。**Drawdown Labs**は世界トップクラスの研究や分析情報、そして企業間で取り組める対策を通して、これまでにない形で気候変動に対抗しようとしています。そして世界中の企業により広いビジョンを持った、集合的なリーダーシップを示そうとしています。



Global Fashion Agendaはファッションバリューチェーンにおける業界リーダーを集め、ビジネスに変化をもたらす可能性について考えます。Allbirdsも共同パートナーとしてファッション業界におけるサステナビリティを促進させる戦略やコンテンツ、そしてフィードバックに関するサポートを行なっています。

Adidasとのパートナーシップ

Allbirdsのカーボンフットプリントを削減するだけでは気候変動には対抗できません。私たちは企業として、そして業界としても事業改革を行う必要があります。そこで私たちはadidasと共に史上最もカーボンフットプリントの低いパフォーマンスシューズを開発することになりました。目標は大胆な2kg CO₂e、もしくはさらに低い数値と設定しました。

このコラボレーションでは製造及びサプライチェーンの過程に革新をもたらし、新しい再生可能素材の追求も行います。互いの画期的技術を活用して、サステナブルな未来のために新しい業界基準を提案します。この前例のないパートナーシップによってその他の企業も競争よりコラボレーションを優先するのを促し、地球にとってより良い選択を取ってもらえることを期待しています。Allbirdsとadidasはコラボレーションが環境への影響を減らすための近道であると理解していて、サステナブルなシューズ製造を実現するために何が必要かを示したいと考えています。



「気候変動は地球全体の人々にとっての問題で、待った無しの状況にあります。一人の力では到底解決できる問題ではなく、国や行政、企業、そして個人が協力して取り組まなくてはならないのです。」

ティム・ブラウン Allbirds 共同創業者

コミュニティの大切さ

ビジネスが成長すると共に、Allbirdsは自身のポジティブな活動をシューズやアパレル業界だけにとどめたくないと考えています。私たちの企業としての立場を活用して、共感できる活動を続ける人々の声を紹介し、広く届ける責任があると感じています。よってコミュニティーや社会に対して私たちと同じような責任を持つ多くの団体やプロジェクトを支持しています。

カーボンフットプリントラベリングを初めて一年、私たちは自社の製品ライフサイクル測定ツールを業界全体に向けてオープンソース化しました。ツールとマニュアル、そしてカーボンフットプリントアートを**FreeTheFootprint.com**で共有しています。



2019年のアースデイを祝う際にAllbirdsは**National Audubon Society**と共に気候変動によって危機に面している鳥たちをモチーフにした限定コレクションを作りました。



Allbirdsは**Allgood Collective**というプログラムを通して地域リーダーや組織、活動家の声を発信しています。環境問題や気候変動、ウェルネス、クリエイティブな表現など様々なメッセージを届けています。

Allbirdsに返品されたシューズが再販売できない場合、非営利団体の**Soles4Soles**とグリーンバード（日本）に送っています。これまでに225,000足のシューズを寄付しています。



ロサンゼルスストリートウェアブランドである**Chinatown Market**とカスタマイザーのニコール・マクラクリンとパートナーシップを組み、アップサイクルされたアート作品をSunrise MovementとOkra Projectをサポートするためにオークションにかけて活動に参加しています。



コロナウィルスが世界を席卷し始めた際、直接寄付やお客様による購入ドネーションプログラムによってAllbirdsは50,000足のWool Runnerを**医療従事者**に提供しました。

これからについて

ここ数十年に起きてきた世界各地での出来事が私たちに示したことは、これまで通りのビジネスのやり方はもう通じないということです。加速する気候変動によって大気圏、環境、経済そして社会が影響を受けている中で、企業などはこれまでのように地球の資源を摂取して利益を得るやり方は続けられません。気候変動で最も影響を受けるのは、これまでもそしてこれからも、恵まれていないコミュニティの人々なのです。企業はビジネスに関わる決断をするとき、世界中の人々のことを考慮する必要があります。従来の、環境をないがしろにする手法ではなく、新しくサステナブルな方法で高品質な製品やサービスを作り、地球を大切にすることを優先させなければなりません。

Allbirdsは製品の素材調達や作り方、ビジネス手法、そして目標というものの位置づけに対して自分たちの役割を理解しています。企業として成長して新しい可能性を発見しながら、私たちはより配慮のあるサステナブルな、そして再生可能なビジネスモデルを築くことに務めます。



文末脚注

1. Quantis. "Measuring Fashion." Measuring Fashion, Quantis, 2018, https://quantis-intl.com/wp-content/uploads/2018/03/measuringfashion_globalimpactstudy_full-report_quantis_cwf_2018a.pdf.
2. B Corp Directory, Allbirds, <https://bcorporation.net/directory/allbirds-inc>.
3. "Dear Business Roundtable CEOs: Let's Get to Work." B Corp, B The Change, 25 August 2019, <https://bthechange.com/dear-business-roundtable-ceos-lets-get-to-work-25f06457738c>.
4. IPCC. Global Warming of 1.5 °C, Intergovernmental Panel on Climate Change, www.ipcc.ch/sr15/.
5. Science Based Targets initiative, Companies Taking Action. "Textiles, Apparel, Footwear and Luxury", May, 2021, <https://sciencebasedtargets.org/companies-taking-action>.
6. Cheah, Lynette et al. Manufacturing-focused emissions reductions in footwear production, MIT, 2012, Footwear characteristics: modeled in Allbirds LCA tool, <https://dspace.mit.edu/handle/1721.1/102070>.
7. Rodale Institute. "Regenerative Organic Agriculture and Climate Change", <https://rodaleinstitute.org/wp-content/uploads/rodale-white-paper.pdf>.
8. "Soil as Carbon Storehouse: New Weapon in Climate Fight?" Yale Environment 360, Yale School of the Environment, 4 March 2014, https://e360.yale.edu/features/soil_as_carbon_storehouse_new_weapon_in_climate_fight.
9. IPCC. "Agriculture, Forestry and Other Land Use (AFOLU)." Fifth Assessment Report of the Intergovernmental Panel on Climate Change, 2014, https://www.ipcc.ch/site/assets/uploads/2018/02/ipcc_wg3_ar5_chapter11.pdf.
10. TENCEL™ sustainability, <https://www.tencel.com/sustainability>.
11. ACV Brasil LCA Study for Braskem, June, 2020. Attributional approach applied to values to align with industry methodology.
12. "Ocean vs. Air Freight: Which Is Right for You?" Flexport, www.flexport.com/blog/ocean-vs-air-freight-which-is-right-for-you/.

データ

カテゴリー	メトリック	測定対象	2019年度	2020年度	
GHG排出	製品カーボンフットプリント	カーボンフットプリントが示されている製品の割合	100%	100%	
		平均カーボンフットプリント (kg CO2e/製品): アクセサリー	1.8	2.8	
		平均カーボンフットプリント (kg CO2e/製品): シューズ	7.6	6.7	
		平均カーボンフットプリント (kg CO2e/製品): アパレル	—	10.2	
	カーボンニュートラルリテーター	スコープ1 排出量オフセット率	100%	100%	
		スコープ2 排出量オフセット率	100%	100%	
		スコープ3 排出量オフセット率	100%	100%	
	モードミックス	インバウンド海上輸送重量の割合	79%	80%	
	素材	第三者素材基準を満たしている率	ZQ, ウールの割合	100%	100%
			FSC, テンセルの割合	90%	72%
FSC, 天然ゴムの割合			100%	100%	
FSC, パッケージングの割合			90%	96%	
パッケージング		パッケージング総重量 (メトリックトン)	989	1,065	
		リサイクル・再生可能素材で作られている割合	100%	100%	
		リサイクル可能・再生可能・コンポスト可能の割合	100%	100%	
サプライチェーン		サプライヤーの数	Tier1 サプライヤーの数	3	9
			労働行動規範の遵守	労働規範の監査を受けた Tier1 サプライヤーの割合	33%
			第三者監査人から監査を受けた割合	100%	100%

*年度は12/31までとする

地球に優しく

2021.7月現在